

音楽療法

飯岡だより



夏号

2020年7月

文芸



菊間瓦 鬼師も女性

世の移り

飯岡の佐伯明美様の川柳が、六月十二日(金)愛媛新聞の俳歌柳壇に掲載されました。ご自身のおじいさまが瓦職人だったそうです。(長)

運転手

十亀 伸一(55歳)

スタッフ紹介

- ・性格…緊張しやすい!
- ・趣味…ドライブ・読書
- ・苦手…スポーツ全て
- ・好物…肉類・果物
- ・嫌物…貝類・漬物
- ・メッセージ

これからも頑張ります!



安全運転実行中!

七夕まつり



七月一日(水)からの一週間、「七夕まつり」を実施し、デイ飯岡の坪庭に生えている笹を二本切り取り、願い事を書いた短冊にキラキラ星、色紙の飾りなど、利用者の皆さんで飾り付けをしました。マジックやハサミを器用に扱いながら、立派な笹飾りが出来上がりしました。(片)

佐伯かんばってま〜す!



歌うことでみんな笑顔です!



音楽療法とは、ただ音楽を聴いたり、楽しむというのではなく、対象となる人のニーズに合わせて音楽を意図的、計画的に使用し提供するものです。音楽を聴いたり、歌詞を思い出ししたり、声を出して歌うことで脳に刺激が与えられ活性化します。

デイ飯岡では、集団に対して実施しているため、音楽療法士のわたくし佐伯がピアノを演奏し、利用者様に歌っていただいています。利用者様の幼少期に歌っていた曲や、青春時代に聴いていた曲を選曲することによって、当時のことを思い出して頂きます。

音楽療法では、普段発言が少ない方でも当時の思い出の断片を提供することで、発言数が多くなることがあり、懐かしく、輝いていた頃の自分の姿が蘇って来ることがわかりません。集団に対してはありますが、一人ひとりの様子を注意深く観察しながら、その場に合った選曲や声掛けを行っています。(末)

食のクリエーション

五月二十一日(木)食レクにて利用者様全員で「カップ蒸しパン」作りをしました。生地を混ぜ、ホットプレートに水を入れ、十分程度で蒸し上がる蒸しパンを作りながら「懐かしいね〜」などと若かりし頃を思い出し、話しが花が咲いていました。(久)



編集後記

来月の健康診断に向けてダイエツト実施中の私、利用者の方皆さんにお話すると、皆さん口をそろえて「継続せんといかんわい!」と言われます。人生の大先輩からのお言葉に、三日坊主の私の心は揺れ動いている今日この頃です。(金)